



第66回 定時総会開催

(一社)日本道路建設業協会中部支部は5月26日、名古屋市東区のメルパルク名古屋で第66回定時総会を開き、13年度の事業報告・決算および役員改選などを可決承認し、14年度の事業計画と収支予算などを報告しました。役員改選では、支部長に川端清太鹿島道路執行役員中部支店長、幹事長に寺林裕二日本道路執行役員中部支店長らを選出し、承認いたしました。

議事に先立ち本部役員出席のもと、協会表彰が行われ、技能社員表彰者には三好武夫会長から表彰状が授与されました。

同日開かれた道建協と中部地方整備局との意見交換会に出席した本部役員を代表して三好会長があいさつし「国土強靱化基本法の成立により、強靱なインフラ整備が着実に促進されることを期待している。社会に不可欠な産業とし

て生き延びるためにも、若手技術者・技能者が希望を持って働ける環境作りが急がれる。」と述べられました。

総会の冒頭、あいさつした川端支部長は、「アベノミクス効果により公共事業の減少傾向に歯止めがかかっているが業界を取り巻く状況は依然として厳しい。道路網の整備推進、道路機能の充実、安全な舗装、環境にやさしい舗装、長寿命の舗装などの取組み、トータルコストで良いものを提供するような努力を重ねていきたい。当地域では大地震の発生、老朽化した社会インフラ更新など、重要な対応課題が多い。人材の確保・育成、新たな入札・契約制度への対応に取り組み、道路網整備への貢献を通じて、地域の安全を確保しつつ、社会的責任を全うしていこう。」と述べられました。



技能社員表彰受賞者

